

瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



点の指導→線の指導

お家の方からのお便りが日々続々と届いています。

今回も2通ほど紹介させていただきます。

先日はスポーツフェスティバルを開催いただきありがとうございます。
SOLANらしい運動会で、子どもたちの笑顔が弾けていました。

〇〇がますます遅しく、カッコよくなっています。

きょうしついつてくるねー！

21のきょうぎに、□□ちゃんといってくるねー

と出かけて行く姿に

もう彼の世界があるんだなと感じました。

私が写真を撮らせて？というと

いまからせんせいはなしがあるから、あとからね！

と叱られました。笑

私はボランティアをやらせていただいたのですが、

よく考えたら、主人はいないし、娘は連れていくし、大丈夫かな？断った方がいいかな？と思いました。

そんな時に

我が子は話せば分かってくれるだろう

先生方は、娘を連れてボランティアをしても許してくれるだろう

急遽できなくても許してくれるだろう

他の保護者様がきっと、娘をみるよーと言ってくれだろう、助けてくれるだろう

そんな自信があったんですよね。

そう思えることが改めてすごいなと感じました。

実際に

娘ちゃんみてるよー大丈夫？

と何人ものお母様にお声をかけていただきました。

本当に本当にありがたかったです。

娘を連れてボランティアの説明に行っても

誰も嫌な顔をされることもなく…

〇〇は、行ってくるねーと言ったきり、行方不明…

娘は、1年生のある女の子と一緒に連れて回ってくださったみたいで、そのお母様がたくさんの写真もくださいました。

1年生の借り人競走の際は

娘をバスティーチャーのすえこさんが抱っこしてくださったり、みていてくださり、おかげでたくさんの写真が撮れました。

借り人競走で、先生方、保護者様が率先して出て行く姿に、これだから、子どもたちは安心して競技ができるんだなと感じました。

何も心配はいらなかったんだ、

どんな時も SOLAN の皆さんは助けてくれるし、

本当にありがたいと感じました。

それぞれの家庭環境や考え方、住んでいるところもバラバラですが、本当に皆さんが温かいです。

先生方もたくさんの準備に、子どもたちの指導、日々は授業に、やることだ

らけですよ。貴重な土曜日にも出勤いただき、感謝しかございません。

靴とばしも大人気なく参加しました。

このみ先生、その節はありがとうございました。

ボランティアの際、

来年度入学予定のお子様や保護者様に関わる中で

4月に学校に来てくれるのを楽しみにしてるね、待ってるね！

と話すと、保護者様のお顔がぱぁっと明るくなり、

ありがとうございます！

と言ってくさいました。

きっと、不安な気持ちもある中で、

頑張って参加してくださったんだらうな、

その気持ちが嬉しいし、

私たちができることは、惜しみなくやって差し上げたいなと思いました。

スポーツフェスティバルに参加し、

たくさんの気づきがあり、温かい気持ちで過ごすことができました。

本当にありがとうございました。

今後ともよろしくお願いします。

素敵なエピソードの数々を教えていただき、ありがとうございます。

スポーツフェスティバルのボランティアにたくさんの方が協力して下さったことにも感激していましたが、舞台裏でのお家の方同士の優しい支え合いの場面もあった様子は初めて知りました。

私も小さい子を連れて出かけることが多いですが、周りの方のふとした気遣いがたまらなく嬉しいことがよくあります。

メッセージを読ませて頂き改めてじんわりと温かい気持ちになりました。

借り人競争然り、来年度の入学予定の方との関わり然り、お子さんの成長然り、見えていないだけで世界には素晴らしいことがまだまだたくさんあるということを優しく教えてもらえるような文章でした。

あなたの心がきれいだから 何でもきれいに見えるんだなあ

という大好きな詩が思い浮かびました。



こんにちは。Airdrop に関することで気になる記事を読んだので、共有したいと思います。

私自身は iPhone を持っていないので Airdrop を使用したことはありませんが、ソランの子どもたちは日常的に Airdrop で画像などを送りあっているようですね。

問題は、Airdrop やテザリングをする際に、自分のまわりにいる人の氏名がハッキリとわかってしまうことです。

この手口でわざと子どもに近づき、子どもが iPhone や iPad を使用している場合、子どもの名前を Airdrop で把握し、その子どもが下車する駅ま

で尾行し、名前を呼んで声をかけて犯罪に巻き込まれるという事件が起こっているんだそうです。

以前、電車の中などで近くにいる人にアダルト画像を送りつける「AirDrop 痴漢」の問題が話題になったこともありましたね。

iPhone の名前（デバイス名）を本名で設定している人も多いので、それで性別を判別して狙い撃ちする人もいるとのことなんです。

推奨される安全対策としては

◆デバイス名の変更→偽名にする or 名前部分のみを削除し「iPhone」のみにしてもいい。

◆Airdrop の設定の変更→必要なとき以外に AirDrop を使わないなら機能を無効化しておくで安心。「AirDrop」の設定で「すべての人」「連絡先のみ」「受信しない」の中から「受信しない」を選べば AirDrop の機能が無効になる。「連絡先のみ」にしておくだけでも、連絡先に登録されていない第三者からのいたずらは防げる。

ソランで使ってる iPad の設定がどうなってるか気になり、夫の iPhone から娘の iPad に画像を送ろうとしたら娘の名前でなく数字が表示されたので、学校側の初期設定でこうなってるのかなと安心しました。

ただ、Airdrop の設定をチェックしたら「すべての人」になっていました。これは学校側の初期設定なのか、娘本人が設定したのかわかりませんが、このままだと例えば公共交通機関で登下校する子どもは近くにいる人に AirDrop で一方的に何かを送り付けられるリスクがあるということですよね。

今のところ娘はスクールバスなので、そのような心配はありませんが、きちんと Airdrop の危険性を教えないといけないなと思いました。

Airdrop に関して、もし学校では何か注意喚起や指導などされていることがあれば、ぜひ教えていただきたいです。

大切な情報についての共有、誠にありがとうございます。

AirDrop 一つをとってみても、これだけ気を付けることがあり、そうした機能が満載の道具が iPad というアイテムです。

すでに情報の授業で AirDrop についても指導や注意喚起はなされていますので、また担当者の先生からどのような内容を扱ったのかは教えて貰い、紙面で紹介したいと思っています。



また、情報の授業に限らず、授業で一度や二度教えても、実際の運用面で全員ができるようになるまでには相当な時間がかかるのが教育の常でもあるため、継続的に声をかけ続けていく姿勢も大切なのだと思います。

特に、デジタルデバイスには便利さの背後にリスクも多数存在します。

大切な内容だからこそ、点ではなく線の指導をこれからも心掛けていきたいと思っています。

(紙面へのご意見ご感想などもいつでもお寄せください。)



[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](https://www.google.com)